

動機づけ風土の認知が心理的欲求を介して内発的動機づけに及ぼす影響 —早稲田大学ラクロス部を対象として—

Influence of motivational climate on intrinsic motivation through psychological needs

1K04B047-6

小野 大樹

指導教員

主査 作野誠一先生

副査 正木宏明先生

【緒言】

スポーツにおいては、「内発的動機づけ」が重要であるということがしばしば指摘されているが、動機づけには個人の特性や環境特性などさまざまな要因が関係し、その研究は難解なものとなっている。

そういった動機づけに対し、自己決定理論と達成目標理論という大きく2つのアプローチがなされている。自己決定理論では、動機づけを心理的欲求の充足の程度によって、内発的動機づけから非動機づけまでの一連続体上に位置づけることから、動機づけのプロセスを示しており、達成目標理論では、目標志向性(下位尺度として、学習や理解を通じて能力を高める「熟達志向」と、他者よりも相対的に優位に立つことで自己の能力の高さを誇示する「成績志向」がある)や動機づけ風土(集団における目標志向性)の認知の違いが結果要因と関連するといった視点から、動機づけプロセスを示している。しかしながら、それぞれ、理論的枠組みに基づいた社会的要因の構造化がなされていない、目標志向性や動機づけ風土が内発的動機づけに影響を及ぼすことについて明確な動機づけプロセスが仮定されていないという短所がある。

近年、それらを相補する自己決定理論と達成目標理論の枠組みを統合的に捉えるアプローチが展開されている。このアプローチでは、「動機づけ風土→心理的欲求→動機づけ→結果要因」というモデルの検証が行われているが、わが国では、両理論の統合的モデルを検証する研究において、両理論の統合的モデルを適用していけるほどの知見はほとんど見出されていない。

以上のことにより、本研究では、早稲田大学ラクロス部を対象に自己決定理論と達成目標理論の統合的モデルの検証をおこない、動機づけ風土の認知が、部員個人の有能さ、関係性、自律性への充足といった心理的欲求を介し、内発的動機づけにどのように影響を及ぼすかを明らかにする。

【研究方法】

上記の目的を明らかにするために、2007年度早稲田大学ラクロス部男子・女子に所属する部員(選手)、計142名を対象とし、無記名自記式質問票による調査を実施した。質問紙の内容は、①動機づけ風土の認知の構成因子を明らかにし、②動機づけ風土の認知が、部員個人の有能さ、関係性、自律性への充足といった心理的欲求を介し、内発的動機づけにどのように影響を及ぼすかというものである。質問紙に含まれる主な項目は、部員個人の1. 動機づけ風土の

認知、2. 有能感、3. 関係性への欲求充足、4. 自律性への欲求充足、5. 動機づけであった。

【結果と考察】

- ① 動機づけ風土尺度の因子分析(主因子法、バリマックス回転)をおこない、その結果、「熟達風土」(個人レベルでの上達や努力が高く評価され、個人の役割が重要視される風土)と「成績風土」(他者との競争や勝つことが重要視され、不平等な評価がなされる風土)の2つの因子が抽出された。
- ② 動機づけ風土と心理的欲求(有能感・関係性・自律性)、内発的動機づけの関係を分析するため、まず、動機づけ風土と有能感、関係性、自律性、動機づけとの相関関係を分析した。その結果、熟達風土は、有能感、関係性、自律性、内発的動機づけに対して、いずれも正の相関関係があり、それに対して成績風土は、関係性、自律性には負の相関関係、外発的動機づけには正の相関関係があった。

次に、熟達風土と成績風土の両風土に強い認知を示したMP群、熟達風土により強い認知を示したMp群、成績風土により強い認知を示したmP群、両風土ともに低い認知を示したmp群の4つに類型化し、類型ごとに心理的欲求(有能感・関係性・自律性)が内発的動機づけに及ぼす影響を検討するため、重回帰分析をおこなった。その結果、mP群とmp群において、「有能感」が部員個人の内発的動機づけを高めることに寄与しており、MP群とMp群においては、3つの心理的欲求が内発的動機づけに及ぼす有意な影響はないことが明らかになった。

したがって、「熟達風土」は内発的動機づけに寄与し、「成績風土」は内発的動機づけに寄与しないが、有能さへの欲求充足が満たされることで内発的動機づけが高まる、ということが示唆できる。また、「熟達風土群」に女子部員が多く、「成績風土群」には男子部員が多いことから、男子部員にとって有能感を高めることが、内発的動機づけを高める上でより重要になるということが示唆された。

【まとめ】

本研究では、早稲田大学ラクロス部における動機づけ風土因子として、「熟達風土」と「成績風土」の2つ因子があること、「熟達風土」は内発的動機づけと正の相関関係があり、「成績風土」は有能さへの欲求充足を介して、内発的動機づけに影響を及ぼすことなどが明らかになった。